



たまきゆう便り

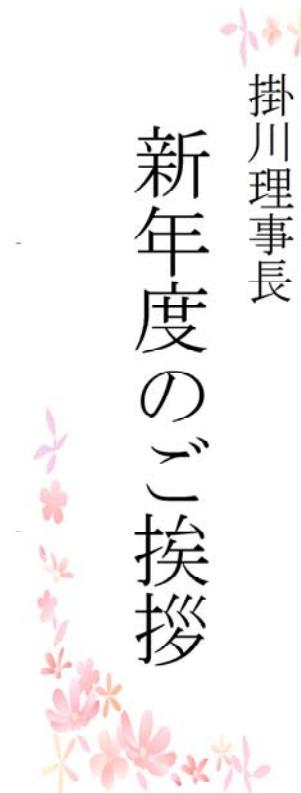
発行
多摩丘陵病院
広報委員会

1491
町田市下小山田町



掛川理事長

新年度のご挨拶



第二次世界大戦で受けた莫大な被害（勝者、敗者問わず）の反省から世界的視野で平和の大切さが強調され個人の尊厳、平等が求められ、世界のグローバル化へと進み70有余年が経過した。

先日或る作家の作品の中に興味ある一文を見つけた。「平和と結びつくのは平等ではなく格差で、平等に結びつくのは戦争である」とあつた。平和を望むためには個人の人格を尊重、自由な行動を認める、その結果能力の差による格差が生まれるのは当然、平等にする為には規則が必要、其れが国家的統制を生み、ナショナリズムを発生、軍備的強化から戦争へと発展する可能性大（過去の歴史から見て）と、私はこの一文を愚行、解釈した。

昨年来英國のE.Uの離脱、ポピリズム的ナショナリズムでトランプ大統領の出現と、この文句を裏付ける様な事態が実際に生じて來た。この様な世相の中では医療界も多大な影響を受ける事は十分予測される。かかる状況下で新年度を迎える訳であるが、如何に対処して行くべきか大いに悩むところである。

併し我々医療従事者は如何なる事態に遭遇しても常に患者中心を忘れてならず、病院勤務者は病院で掲げた理念を忠実に守り遂行する事に変わりない。そこで此の機会にこそ病院発足以来先人が試行錯誤しつつ、夫々の時代に適応した洞察力、努力に依り今日の隆盛を築いてきた当院の歴史を冷静に振り返り、また問題の多い2025年への対策も含め、当院の進むべき道、方向性を職員全員で考える絶好のチャンスと捉えるべきではないかと私は考える。何故ならバブル崩壊後極端な医療費抑制政策が取られた2010年当時、他施設に先駆け、リハビリ医療の社会的ニードの高まりを予知し、当院の柱の一つに据え強化を図った先人の先見性を示す歴史が我が病院にあるからである。

新制度を迎えるに当たり、世界的不透明な今年だからこそ諸先輩が歩んで来た歴史を学びつつ我が家が病院が、この地域におけるケアミックス病院の中心としての地位を不動のものとする第1歩の年とすべきと考える。その為には紙面の都合上具体的的事項は省略するが、当方も多くの提言、要求、実行をお願いするが、同時に職員一同の忌憚のない建設的意見具申が極めて重要である。

最後に重ねて諸兄らの叡智を借りつつ期会の勝者となる事を実現させる年には是非したいと職員一同のご協力を切望し新年度の挨拶とします。

その日の食事を確認する調理師と管理栄養士

撮影 守澤住崇



筋肉量や体脂肪量を測定して評価

- ◆ 病院食のご提供、入院患者様の栄養管理、個人栄養相談、特定保健指導、糖尿病教室、訪問栄養相談などを行っています。
- ◆ 栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム、糖尿病などのチーム医療に参加しています。
- ◆ 地域医療・福祉に貢献できるよう、院外活動や栄養士を目指す学生の実習、中学生の職場体験の受け入れを積極的に行ってています。



食品模型などを使って分かりやすく指導



節分の行事食の紹介



※噛むことや飲み込むことの機能が低下している方や食事制限が必要とされている方は主治医や管理栄養士にご相談してからお召し上がりください。

③炊き上がったら千切りにした大葉を混ぜて出来上がりです。

①油揚げは熱湯をかけて油抜きし、食べやすい大きさに切ります。
②炊飯器に洗ったお米、調味液Aとメモリ分の水を加えて、良く混ぜ合わせます。その上に水煮大豆、油揚げ、しらす干しを平に乗せて炊きます。

作り方

「お品書き」
常菜食
(普通食)

大豆ご飯
たらの
かぶの蒸し
大根の梅和え
けんちん汁
抹茶ババロア

材料 4人前

米2カップ
水煮大豆80g
油揚げ1／2枚
しらす干し25g
料理酒 小さじ2杯
みりん 小さじ2杯
しょうゆ 小さじ1杯半
顆粒だし 小さじ1／2杯
大葉 2～3枚

1人前(200g)
約340kcal
塩分1.0g

調味液A

「大豆ご飯」の作り方

節分でなくてもおすすめ♪

病院救急車／地域に寄り添う包括医療を支える



救急車の運行を開始

町田市の高齢者人口は南多摩の高齢者人口の30%を占めており、今後高齢者の救急搬送・転院搬送の急増が課題の一つとなっています。

そこで、多摩丘陵病院では平成27年7月13日より病院内に救急車を設置し入院を希望する患者さまや外来の診察を希望する患者さまなどの搬送サービスを開始しました。

現在は、毎週月曜日と木曜日の9:00～17:00に救急車を運行しております。

搬送サービス中の体調管理や患者さまが万が一急変した時に備え、多摩丘陵病院の救急車には救急救命士を必ず二名乗車させて運行しております。

救急救命士を乗車させることで、安全・安心な搬送サービスを行うことができます。

救急車の運行日

月曜日と木曜日・時間指定可

現在は週2日の運行ですが、週5日（平日の9:00～17:00）の運行とより多くの患者さまに利用していただくことを目指し、これからも安全・安心な搬送サービスを継続してまいります。

お問い合わせ：総務課 042-797-1511

救急救命士とは、

救急現場や救急車内での患者さまの観察・処置・搬送を得意とする専門的な国家資格です。

多摩丘陵病院健康講座のご案内

当院では地域企業や住民の皆様を対象とした健康講座を開催いたします。

医療の様々な分野と健康の知識について、当院の職員が分かりやすく

メタボリックシンドロームの予防と改善

講師：健康管理科
職員

解説いたしますので、



メタボリックシンドロームを放置するとやが

て、心筋梗塞や脳梗塞などの

致死的疾患を引き起こす可能性があります。

運動不足や食べ過ぎなどの不適切な生活習慣がメタボリックシンドロームの主な原因です。本講座ではメタボリックシンドロームの予防・改善のための運動や正しい生活習慣のご提案をいたします。是非、ご参加下さい。

●日 時：5月30日（火）午後5：30～午後6：30

●場 所：町田市下小山田町1491 多摩丘陵病院3階・理学療法室

●主 催：健康管理科

●お問い合わせ：042-797-1511